

あれから10年

三河線廃線区間

枝下編



枝下

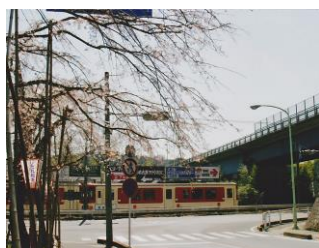
この地には木節粘土(陶磁器の原料)や珪砂(ガラスの原料)の鉱脈あり、農家の副業として採掘していたが、三河鉄道が開業し、ますます盛んになっていった。一口に言えば、木節粘土や珪砂の積み出しのため造られた駅と言っても過言ではない。三河線の山線で一番乗降客が少ない駅でもあった。



枝下用水の取水口は、現在越戸発電所の施設を共用しているが、昭和4年越戸ダムに変更されるまで枝下駅から300m猿投方の矢作川右岸にあった。最近、住民のボランティアの手で、その取水口の石わく(下の写真)跡まで竹林を伐採し近道が完成した。また、線路跡も軌道間に細かいバラスを入れ雑草防止兼歩行を容易し、用水取水口入口に案内標識も掲げられた。



平成24年1月7日



LE-car 最後の日…平成16年3月31日





在りし日の
L E-carたち







枝下~御船川





廃線後の 春 夏 秋 冬





枝垂れ桜…平成 22 年 4 月 3 日



孟宗竹&山桜…平成 20 年 4 月 4 日



桜と若葉と清流と…平成 24 年 4 月 12 日



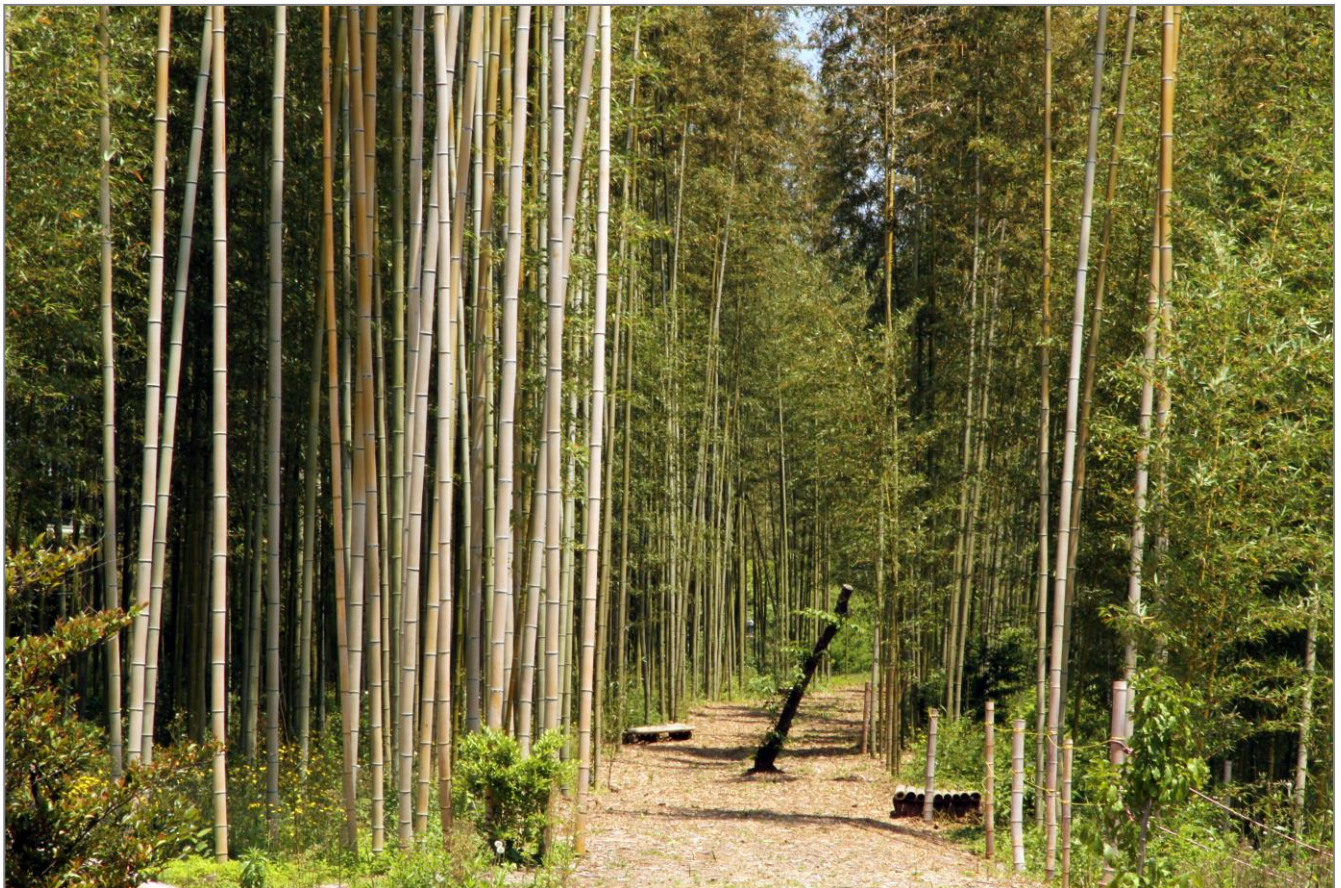
平成 24 年 4 月 12 日 今年の枝垂れ桜は花びらがなぜか少ない。





植栽ゾーンのツツジ…平成 20 年 5 月 1 日

三河広瀬方の竹林です…平成 24 年 5 月 19 日





アケビの蔓もすくすくと…平成 20 年 5 月 21 日



アガパンサス…平成 20 年 7 月 5 日



柿の葉も夏色に変身…平成 19 年 6 月 11 日



桔梗の花…平成 21 年 7 月 9 日

花壇に紅色のカンナが…平成 22 年 8 月 11 日

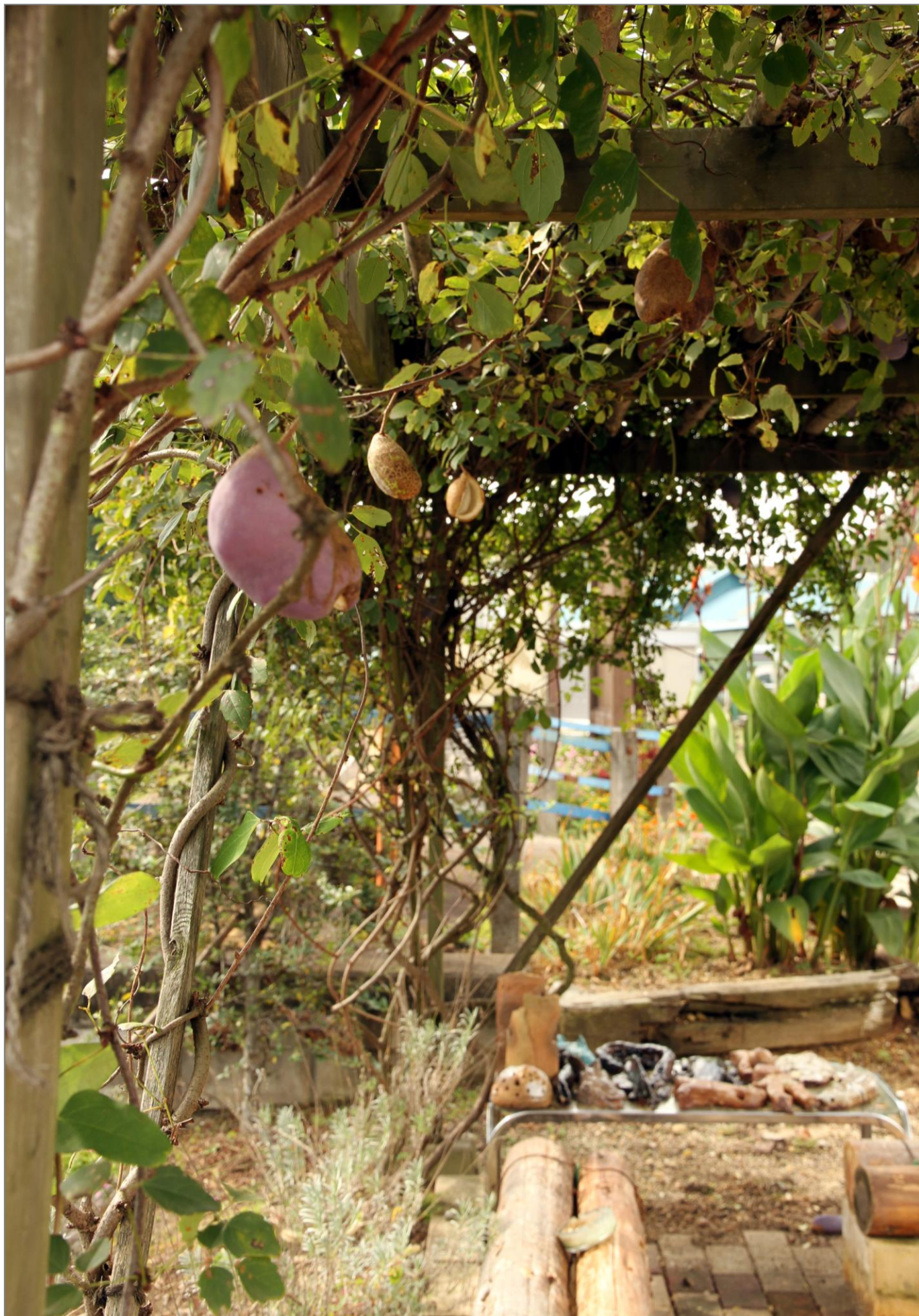




秋・紅葉本番…平成 18 年 11 月 28 日

楓色付く…平成 20 年 11 月 12 日





棚を覗けば美味しそうなアケビが…平成 23 年 11 月 17 日



入口に工事用柵で通せん坊…平成 17 年 12 月 19 日

ホーム横の柵外から…平成 17 年 12 月 19 日





吹雪いていた雪も一休み…平成 23 年 1 月 16 日

白銀に真っ赤な南天が映える…平成 23 年 1 月 16 日





平成 24 年 2 月 2 日



手前は伐採された竹…平成 24 年 2 月 2 日
雪雲は目まぐるしく変化 薄日が差したかと思えば急に降り出す
アケビ棚も寒そう…平成 24 年 2 月 2 日



御船川橋梁

鉄橋と橋梁の違いは？ と問われれば、ほぼ同じと答えます。鉄橋は俗語で、正式には橋梁です。

鉄橋とは、鉄道橋と鉄でできた橋の二つの意味が…。

ところで、この御船川橋梁は、名鉄では一番高い橋梁です。

何十メートルだったか忘れてましたが…。長さは71.4メートルです。

今では「東海環状自動車道」の下になり、一生陽の当たらぬ運命に晒されています。



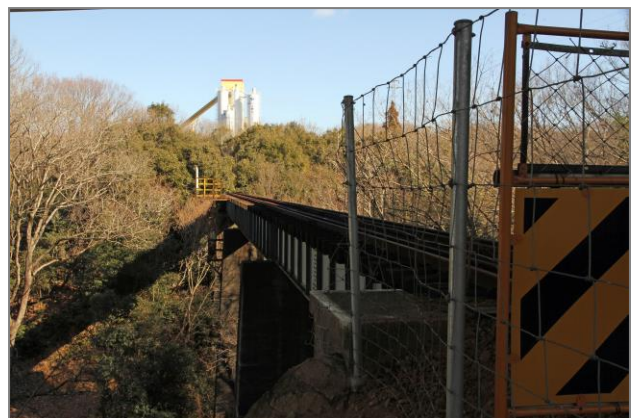
上 2 枚…平成 16 年 3 月



上…平成 22 年 11 月 6 日

上…平成 22 年 11 月 18 日

下…平成 24 年 1 月 7 日





平成 19 年 4 月 8 日 撮影

上り列車…御船川～三河御船3号踏切間



御船川から御船方へ 50 ㌔を過ぎた 20%上り勾配

上り列車…大釜橋下

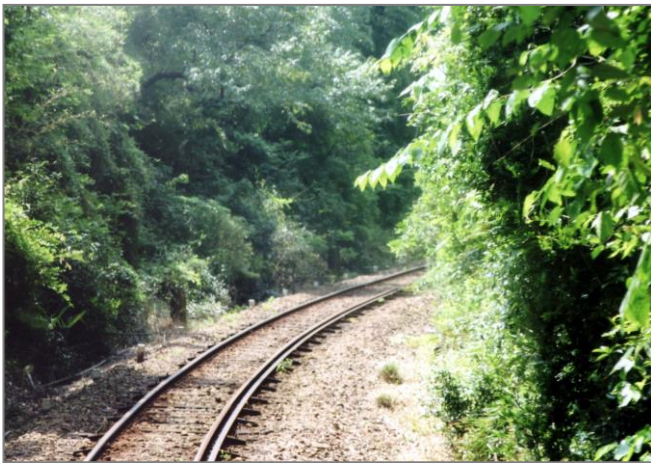


枝下～御船川間(跨線橋枝下方 22%の上り勾配)

落葉の季節 運転士を苦しめた上り坂

枝下～御船川間 45 ㌔制限内 20%上り勾配

広瀬 2 号踏切手前 55 ㌔制限内の 20%上り勾配



上り列車…枝下～大釜橋間



下り列車…三河広瀬1～2号踏切間